

会 議 録

- 1 会議の名称 令和5年度第1回川根本町保健、福祉サービス推進協議会児童福祉部会及び川根本町子ども・子育て会議
- 2 会議日時 令和5年11月27日（月）午後3時から午後4時20分まで
- 3 開催場所 川根本町山村開発センター 2階大会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 森下洋一委員（会長）・八木朝子委員（副会長）
木村富子委員・松下のぞみ委員・相藤みさ子委員・遠藤美也子委員
・小澤いつ子委員・渡邊友希委員 計8名
欠席委員 1名（山下富士夫委員）
 - (2) 執行機関 （事務局）健康福祉課長 森下育昭 こども支援室長 長島誠
 - (3) その他 傍聴者 なし
- 5 議事
 1. 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
 2. 子ども・子育て支援事業計画策定に係る調査について
 3. その他
- 6 会議資料の名称
 - 資料1 川根本町子ども・子育て支援事業計画、実績値
 - 資料2-1 子ども・子育てに関するアンケート調査票（就学前児童用、案）
 - 資料2-2 子ども・子育てに関するアンケート調査票（小学校児童用、案）
 - 資料3 川根本町こども計画について
 - 資料4 川根本町こども計画策定に関するアンケート調査票（案）
- 7 発言の内容
 - (1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
 - 事務局 川根本町子ども・子育て支援事業計画に掲載された事業等について、令和2年度から令和5年度の状況及び実績値を説明。
 - 委員長 現状で幼稚園や保育園の入園に関し、待機児童はいないということですか。
 - 事務局 そうです。現在、入園待機児童はいない状況です。これまでには0歳児が入園を希望した際、職員の人員配置の関係で入園を待っていたこともあったようですが、現在はそのような状況はありません。
 - 委員長 中川根児童クラブが今年度、今まで実施していた場所で実施できなくなり問題になっていましたが、現在、三ツ星小学校の教室を利用することで解消されたということですか。

事務局 今年度、三ツ星小学校の教室が一部屋利用できる状況であったため、その教室を借り現在は実施しています。健康福祉課としては、来年度以降の実施場所について、学校との話し合いにはなりますが、学校施設を借り、実施したいと考えています。

委員長 まだ決定していないということですね。

事務局 最終決定には至っていません。現在、学校及び教育委員会と話し合いを行っています。

(2) 子ども・子育て支援事業計画策定に係る調査について

事務局 川根本町子ども・子育て支援事業計画策定に係る就学前児童と小学校児童用の調査票の町独自の設問について説明。

委員長 公園マップについて、乳児の家庭訪問事業時に持っていくなど、子育て中の家庭に届く仕組みがあるといい。

事務局 前年度、町内保育園児と小学生にマップを配布しました。今後は、出産届の際に渡すなど、工夫します。また、マップは町ホームページにも掲載されているので併せてQRコードの配布なども行います。

委員 さゆり幼稚園は今年3月以降、休園しています。町の人口減少に伴う園児数減少と小さなうちから子どもを保育園に預けるといふ風潮の中で、幼稚園に入園する子どもが大変少なくなり、やむなく休園としました。近年は園児が少なく経営が成り立つ状況ではなく、ボランティアという感じで行っていました。今後、園再開は、幼児がとて少なくなっている中で大変難しい状況ですが、選択肢の一つとしながら、この地域の子どもたちの育ちのために、また、町民の皆様が何か楽しんで活動できる場にしていきたいと思っています。来年度の具体的な計画も立てており、その実施には様々な費用が掛かります。現在、園は補助金を受けておらず、活動に対する助成がお願いできないかと思っています。

委員長 休園というかたちをとりながら、地域や子どもたちのための活動を行うということで、町の助成も考えられると思いますがどうでしょう。

事務局 話された事業計画が既存の補助制度の対象となるかは確認しなければお答えできません。事業計画を提出いただければ、確認しお答えします。

委員長 様々な内容を計画に反映できればと思いますので、お願いします。

委員 町内各地区の公園等は利用できると思いますが、遊具等の塗装が剥がれ、傷んでいる物もあります。遊具や公園は、各地区で管理するものですか。小長井の中央公園は東屋があるだけで全面芝生です。芝の管理は地区の人が行ってくれています。

事務局 公園やその公園にある遊具の管理は、所有者が行うこととなります。

委員 区が所有する公園であれば、区で管理するということですか。

事務局 そうなると思います。

委員 町の助成を受けるには、事前に申請しなければならないのですか。

事務局 区で実施する事業等に対する補助制度が無ければ補助を行うことはできず、その事業等の内容を確認する必要があります。

委員 地区の公園には、使用時に誰かがついていないと危険だと思う遊具があります。このマップに載っている公園を巡回し、全て確認してほしいと思います。所有者が管理するものというのは分かりました。

委員長 点検を行っても、いつ使用されるか分かりません。また、実際に使用してみないと状況は分かりません。使用して状態が悪いようなら管理する区や町へ連絡することが大切だと思います。

委員長 児童クラブでは、公園を活用することはありませんか。

委員 中川根児童クラブは現在、三ツ星小学校で実施していますが、高郷・上長尾地区には利用児童が歩いて行けるような公園はありません。学校のグラウンドで遊べば良いのですが。

委員長 学校にグラウンドはあるが、遊ぶものがないということですか。

委員 例えば、今日は少し趣向を変えてどこかに遊びに行ってみようといった時に、利用児童全員が歩いて行け、遊べる場所は無いと思います。

委員長 三ツ星キャンプ場や高郷の広場はどうですか。

委員 高郷の広場は行くにあたり、車の通行量が多い道を渡る必要があり、利用児童が多い場合、移動の際の安全確保が大変になります。

委員長 調査票は、前回調査の内容を踏襲しているのですか。

事務局 調査項目は国が示します。5年前と現在の状況の比較もあり、前回と同じものになると考えられます。町独自の質問は、国の示す質問に加えてとなるため、今回示した2、3問を加えるのが限度だと思います。

委員長 委員からの意見をいただきたいのは、町独自の質問ということですね。

事務局 就学前児童と小学校児童の調査票の町独自の質問は同じ内容です。前回調査では公園整備を求める意見が多い状況があり、その意見の対応の一つとして、公園マップの作製を行いました。町内にもたくさんの広場等があることを知っていただいて、それでも必要だという意見があるかを確認したいと考えています。現在の保護者の意見は、遊具や設備が多く整った公園の整備を求めるものだと思います。今回の調査で、どのような公園の整備を求めるのかと整備された時の利用頻度などを確認し、今後の検討資料を得たいと考えました。

委員 お母さんたちは、確かに公園やそういう場所を求めています。公園だけではなく一緒に遊べる友達というか、一緒に過ごす人を求めている方が多いと思います。公園はどこであっても、今日一緒に遊ぶ人の有無で、行く、行かないの判断に影響がでると思います。求め始めたばかりがなく、遠くても自分の求めるものが整っている公園、保護者自身もほっとできるような場所を求めて出掛けて行く状況があります。公園があれば良いではなく、一緒にいる人や子どもが遊ぶ人がいないという、なかなか解決できていない問題もあるように思います。

委員 最終的には子どもが少ないということが大きな問題だと思いますが、子どもが少ない中でも私たちは応援していくのが役目だと思います。公園があっても上手に利用しなければ、遊具があるからそこで遊ばせるというだけでは意味がないと思います。

事務局 川根本町子ども・子育て支援事業計画に係る小学生、中学生、高校生用の調査票について説明。

委員 問22「大人になっても今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか」ですが、問21のように回答理由の記載欄があれば、「どうして住み続けたいのか」や「住み続けていたくないのか」がわかると思いました。

委員長 問18「将来どのような職業に就きたいですか。」は質問が漠然としています。小学生から高校生までであれば、選択式にしてはどうですか。

事務局 選択式にした場合、選択項目が多くなり過ぎる点と子どもがやりたいことの回答を限定してしまう可能性があるのではという点から、自由に記載してもらったものを後で分類する方法としました。

委員長 問19「結婚の希望」と「子どもを持ちたいか」という質問は、小学生に回答させるのは難しく、回答理由の記載も難しいと思います。

事務局 調査では、少子化に対する課題や子どもたちのライフプランの支援に係る点もあり、年代別の結婚や子どもに対する考えを知ることにより、取り組む方策の参考になると考えました。また、回答したくない場合は無回答のまま調査票を出してくると思います。

委員 質問の後に質問理由が記載されていると分かりやすいと思います。

委員 問19、問20の結婚観等を入れた理由を説明いただきましたが、もし問い掛けるとしたら「結婚をしたら川根本町に住みたいですか」というような質問なら小学校でも答えやすいと思いました。

委員 答えるのが大変な項目だと思います。無回答でも良いとのことですが、結婚も将来も小学生では見えていない子も多いと思います。調査対象が高校生までで、家族についての質問、問13や問14の回答の選択肢に「うっとうしい」や「自分とは関係ない」など少しドキッとさせる言葉がありますが、こういう言葉は普通で「うっとうしい」という単語は言葉として標準ですか。親としたり少し寂しい気持ちになる言葉です。

事務局 中学生だと思春期、反抗期に入った頃で、家族を「うっとうしい」といった回答をする可能性はあります。ただ、当町ではその様な回答は少なく、大きな市町であれば増える可能性はあると思います。

委員長 その他、意見や質問等はありませんか。

委員長 出された意見を検討し、調査票をまとめていただければと思います。

事務局 小学生、中学生、高校生用の調査票はQRコードを掲載し、ウェブでの回答も行えるよう考えています。学年で質問を変えるなど、他市町の状況も確認しながら検討したいと思います。

事務局 調査スケジュールですが、12月上旬まで調査項目を検討。同時進行で12月中に発送の準備を行い、前回同様に1月上旬に調査票を発送、1月中の回収を考えています。結果の取りまとめは3月中旬頃までに終了し、委員の皆様へ報告します。

委員長 調査のスケジュール等の説明がありました。全体をとおしてでも構いませんので、何か質問等あればお願いします。

委員 小学生、中学生、高校生用の調査票の間18「将来の職業について」ですが、今の中学生、高校生が町の特産である茶業に対して関心があるかについて聞くような設問にすることはできないでしょうか。

事務局 農林業については、問17の質問で地域活動体験の中に「農業体験」、「林業体験」という選択肢があり、そのやってみたい活動の「具体的にやりたいこと」を記入してもらう欄があります。農業や林業に対する思いは確認できませんが、関心の有無については確認できると思います。

委員長 その他どうですか。よろしいでしょうか。

以上で本日予定をしていた二つの議事を終了させていただきたいと思えます。議事進行にご協力ありがとうございました。

午後4時20分終了

上記に相違ないことを確認する。

会 長 森下 洋一